

新幹線プレス 		2025 年 5 月 18 日	No.704
		発行者	伊 藤 一 也
		編集者	教 宣 部
J R 東海労新幹線地本			

原因は当該社員の不注意？

労災情報は納得 かない！！

車両所構内操縦者が手の甲を18針縫う大怪我！

3月5日夜、東京修繕車両所の構内操縦者が、着発25番線で防護柵のステンレスバンドの端部に接触し、手の甲を負傷し18針縫うという労働災害が発生しました。この事象について、4月30日付で「労災情報22号」が発行されました。その記事では、原因の2項目に、『**身体が接触する箇所を十分に確認しなかったため**』と、まるで本人に責任があるかのように書いてあります。

しかし、このことに対して多くの人が怒りの声をあげています。

そもそもそのステンレスバンドが、手をケガするような状態で付いているなどとは、作業者にしてみれば普通は考えにも及びません。また、この労災が起こる以前に会社から、『ステンレスバンドが取り付けがあるので注意するように』などと言われたことはありません。つまり会社も気づいてなかったのです。

それにもかかわらず“ケガをした社員のせいにする”とはまったく言語同断です。

私達 J R 東海労ははっきり言います！

“当該社員は何も悪くない！”

“労災情報のこの項は削除し再発行しろ！”

安全で快適な働きやすい職場をつくるため、ユニオン組合員の皆さんも共に声を上げていきましょう！